

# 貧サラリーマン テスタ

## 真夏の過酷な大都会東京で中古テスタは果たして通勤・遊び・仕事・その他に耐えられるのか!?

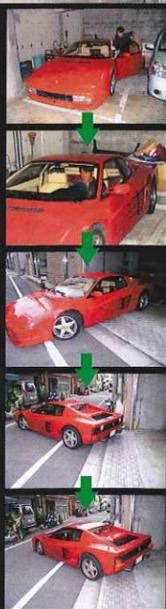
### 保管場所も維持する上で重要なファクターとなります



### 会社の駐車場から出し入れするのもひと苦労なわけ。

写真はマガジンボックスの駐車場。社用車に並んでテスタを停めています。この駐車場、本通りから一本脇道に入ったところに入り口がある。しかも一通路。だから道幅狭い。出庫する時は切り返し1回。重ステだから多少しんどいけど、それでもまあ問題ない程度。難儀なのはバックで停める時。左のクルマにケツがつかないように、前の家の鉢植え倒さないように、右側の壁にこすらないように、細心の注意で切り返し駐車する。最初の2〜3回は切り返し2回必要だったけど、慣れたら切り返し1回でスーパー駐車テクニックを身につけた。重ステも気にならない程度まで腕が上がった。何事も慣れが必要って事です。普通のクルマが駐車できるスペースさえあれば、どんな狭い所だろうがテスタロッサだって駐車できます。家の駐車場は豪邸(笑)なので楽です。

### ケツから駐車がまたツライ



ドジャパンの小澤さんとて当日の取材を無事終えた。  
「ところで小澤さん、実は次号のエフロードは特集がテスタなんすよ」「いいですねえ」  
「そこで相談なんですけど、このままこのテスタを1ヵ月ほど貸してくれませんか? お盆明けの20日前後まで」  
「足クルマはあるんで別にかまわないんですけど、どうしたんですか?」  
「普通にテスタ特集でもいいんですけど、でもやっぱり普通だけじゃつまらんでしょ? 『テスタいいぞテスタいいぞ買って損ないぞ今がチャンスだぞ』とか読者あおるのはいいですけど、実際自分が乗ってもないのにそこまで言っちゃうとウソ臭くてね」  
「ほっほ」  
「だから試しに1ヵ月1000kmほどをテスタで生活してみよう。通勤に使って遊びに使って買い物行って取材に出かけて。そうすりゃ1ヵ月限定とはいえある程度のこと分かるでしょ」  
編集主任Qとスピードジャパン小澤さんの会話を聞いていたライター半谷

さんが、タイミング良くくひと言。「面白いじゃん。可能ならやってみよう。そういうページ読みたいもん」スピードジャパン小澤さん快諾。こうしてテスタ1ヵ月生活はスタートを切ることになったのだ。

### 7月19日

午前11時30分、名神高速の一宮インターから10分程度の場所にあるエアフォルクをテスタで出発。目指すは新宿区早稲田にあるエフロード編集部だ。テスタに乗るのは1ヵ月生活を送るワタクシ編集主任Q。ライター半谷さんとカメラマン村上は別のクルマで仲良くランデブー。テスタは一宮から高速に乗り中央道に入って首都高4号線に都内へ。残る2人は東名で都内を目指す作戦。どっちが早いぞイイドントツの予定を立てたが、なんとその日は大雨で中央道が通行止め。起伏に富んでドライブが楽しい中央道で行きたかったが、泣く泣くトラック地獄の東名でテスタを走らせることに。

満タン。でも都内まで350kmから400km。ガソリン足りるか? いやいやテスタ快調です。東名高速順調です。大雨だつてワイパー快調エアコン快調ラジオからは機嫌なハワアンミュージックだ。鼻歌交じりでお気楽ドライブ。  
「いやいやテスタいいじゃん。なんや知らんが前行くクルマ替してもないのがスリッとか避けてくれるし。追い越しざま横目で眺めりゃほぼ100%こっちは見てるし。なんんかSMA Pの気持ち分かるなあ」

### 立体駐車場も楽々こなすテスタ君



### スポーツオーソリティに野球道具を買いに行きました。

とある真夏の日曜日。今日は奥さんと買い物です。家からクルマで20分程度、府中街道付近にあるスポーツオーソリティ&スーパーのサミットへとテスタでGO! この駐車場は一般道から歩道を横切り2階と3階に登っていくというもの。難関は車道から歩道へ上がる段差。ダンバーおよびプッシュ車を全交換してあるテスタは、思いのほか車高が高い。まず問題なくクリアしてくれらるうと思っはいるのだが、でも歩道との段差もかなりある。車体下部こするわけにはいかないから、歩道の手前で一旦停車し駐車場案内人に窓を開け確認。「すまへん。段差、大丈夫ですか?」「いっしょい。全然余裕ありますよ」。タワーキング以外、問題なし。

# テスタ1ヵ月生活

## 遊び・仕事・その他に耐えられるのか!?

今が底値は間違いなく!

### テスタロッサ 買い時到来!?



おお、テスタだよ

目の毒見ちゃダメ見たら欲しくなる

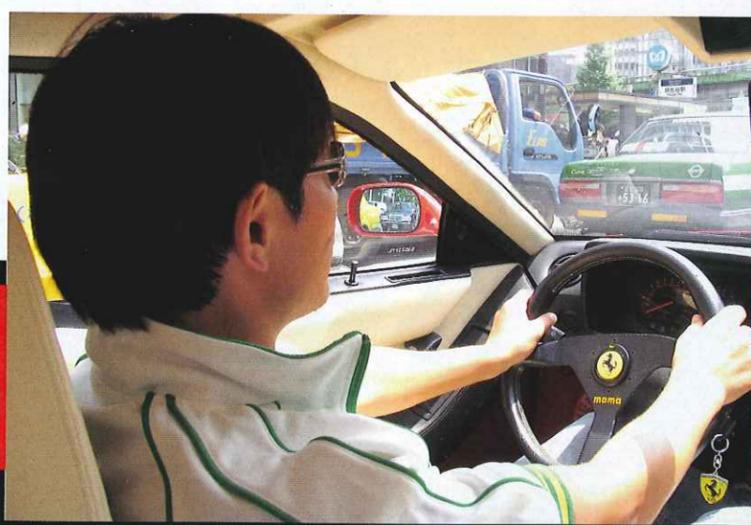
おい、テストしろ? 余計なお世話じゃ

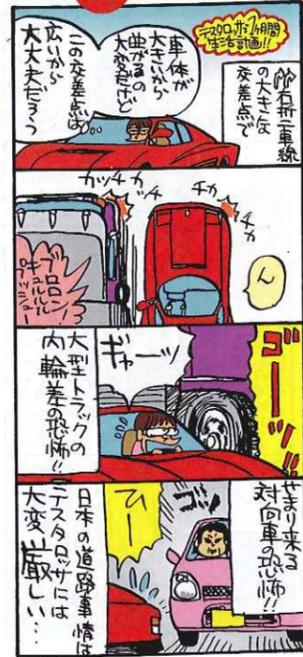
あれいくらすんだろ?

### いきなり黄金伝説!? テスタで1ヵ月1000km生活

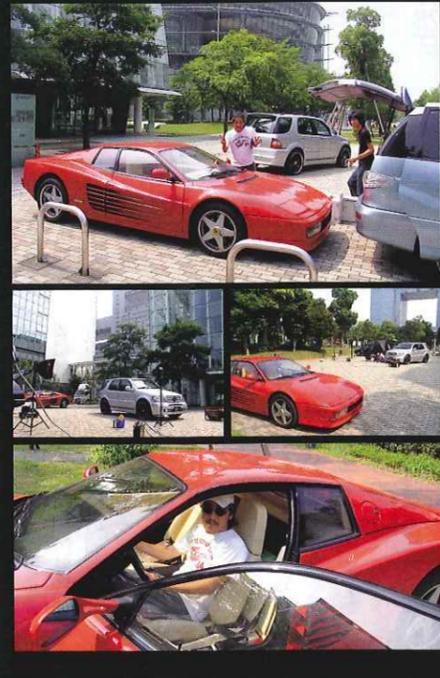
### 7月18日

何だかんでもないことになったなあ。簡単に黄金伝説のハマグチェよろしく「テスタ1ヵ月生活でもやりますか?」とか言っちゃったけど、クルマはどうにか手配可能だとしても真夏の東京でテスタでしょ? あーあ、ちょっと憂鬱になってきたりして…。





姉妹紙ラグジーの取材助っ人のためお台場へ



元エフロード編集長が現編集長の「ラグジー」知ってますか？

いやあ今日も暑いなあ。8時30分に家を出て10時5分前に会社に到着してデスクについて「この一服がたまねえなあ」とキャビンを開けて火を付けた瞬間、「今日ヒマ？」とか別階のラグジー編集部から内線がきた。ラグジーって雑誌知ってる？ でっけーホール履いたりモニターいっぱい付たりしてる、いわゆるラグジュアリーなクルマを取り上げてる雑誌。その編集長、元エフロードの編集長をしていた大編集長(写真下の日本人離れた顔の西山コーイチって日本人?)。「まあヒマだったらヒマだけで忙しいっつってもヒマかな。急遽ラグジー編集部の取材要員としてお台場に駆け付けました。お台場冒険王とかやってるからめっちゃめっちゃ人が多い。「こりゃテストの注目度調査にピッタリじゃん」とか思いつつテキーラに取材手伝いをして駐車してあるテストの様子を観察。さすがに遊びに来ている人たちは心に余裕ある。ほとんどの人たちがテストを注目しつつ目的地へと歩いていきます。若いお姉様を通るたびに「これ俺のクルマ」という顔で用もないのに運転席に座る大編集長の姿がただただ哀れでした。

「ほえーテストタロッサだよ」「やっぱカツコええ」暖かい視線は40歳50歳60歳のオッサンばかり!?



新宿は歌舞伎町へと遊びに行くのも足はテスト

週末が野球とマンガ喫茶と飲みですから、普段は会社からほど近い歌舞伎町には週3回ペースで通ってました。でもテスト1ヵ月生活が始まってからは、行きたくてもいけない。なぜならテストで通勤するから飲めない。マンガ喫茶行くにも駐車場がバカ高い。最初の1週間は我慢できたけど、2週間目に入って禁断症状が。そこで少しでも歌舞伎町の雰囲気味わうため隣の道順をちょっと変更して空気だけ吸いに横かしの場所へ。職安通り沿いのドンキーを眺めつつ、韓国広場の前に駐車して辛ラーメンでも買って帰りますか。ちなみに歌舞伎町ではしばしば黄色のテストを見かけます。「何かバブリー続いてますなあ」とか思ったけど、いざ自分がテストで歌舞伎町走ってみると、別段何も感じませんでした。通行人が若干注目するくらいでした。



デザイナーとの打ち合わせにもテストタロッサで行くのです



会社からクルマで20分程度、文京区小石川って所にエフロードのデザインをしてくれている事務所がある。いつもは社用車でプーンと乗り付けるのだが、ここ1ヵ月はテストで向かう。左写真の上から二番目、スクールゾーンで書いてある道に入って50m先の右側ビルが事務所。左の鉄の欄と右の電柱がテストの進入を阻む。写真を見てもらえばその狭さが分かるってんだ。事務所を出れば本通りまでこんな感じの狭い道を

左に曲がって右に折れてまた左と、「対向車来ませんように」と祈りながらの事務所通り。でも、この道も2回通ったら慣れました。昔はデカく見えたテストタロッサだけど、最近のクルマはどれも皆デカイですから、テストの幅の広さで怖い思いしたことはほとんどなかったですね。ちなみに一番下真ん中の写真、チーフデザイナーさんです。入っていきなり写真を撮ったもんだから、鳩が豆鉄砲食らってます。

が、快調なドライブは御殿場で終了。中央道通行止めの影響で東名が混んできた。大雨の東名で大渋滞に巻き込まれるってのも一興かと思っただけ、そこまで人間できてね。急遽御殿場を下り東富士五湖道路経由の河口湖線に乗って大月から中央道で4号線へ。会社着18時。ガソリン余裕あるけど燃費計算のため給油。走行距離450kmで60ℓ。燃費はナント7.5km/ℓ。ほとんど雨の高速道路だったとはいえこの燃費の良さは驚いた。そーいや河口湖線って路面悪いね。

前日に会社から自宅までテストに乗ってきたので、今日はテストで初の出勤。会社始まるのが10時。電車なら9時に家を出ればOKだけど、クルマの場合は8時30分出発。ちなみに家は小平ってところ。会社のある新宿区早稲田までの距離は一般道で24km。新青梅街道ほとんど一本。撮影車や取材のためにクルマで通勤することも多いから慣れた道。他のクルマと比べてテストはどうか。うーん確かに気は使えね、最初だけ。5分走りゃ別になって感じ。クルマの大きさ、特に幅の広さが気になるかと思っただけ、普通の道走ってる限りさほどでもない。世田谷あたりの一通地獄にハマったらキツイだろうけど、通勤に使う新青梅街道なら問題なし。

テストの太いタイヤ(リア275とフロント255)だ。だとしてアタリがグッチリ握ってないと轍に取られてフッアラする。それとETCレーンも気を付けた方がいいね。前のクルマについて行ったら急にスピード落としたりやがってほとんど停車寸前のスピード。慌ててブレーキかけたらツツツツみたいな。ほんで頭来たからETCレーン通過直後にアクセル思い切りガバツと踏み込んだ瞬間、リアが横滑りしだしてタコ踊りだ。テストに乗ったら普通のクルマ以上に「急」の付く行為は厳禁です。



足かな。ニュートラルに戻せばいいんだけど、それも面倒で1速ホールド。あとそう、何よりシンドイのが通行人と、隣り合わせたクルマからの視線。「おっ！俺ってキムタク？」とかおバカな発想でサングラスとかわざとかけたらしちゃって。でもこっちは見る人を逆によく見ると、オッサンばっかじゃん。若い女の子なんてほぼ100パー無視。というか眼中なし。若い男は一瞬チラ見してからなぜか苦虫かみつぶしたような顔になる。「なーんでオメーみたいなヤツがテスト乗ってんだよ」とか「どーせ親の金だろ」とか「ふんっ、たかがテストだろ」とか「オレはランポの方が好きだね」とか、まあ色々あるのじゃないかな。ちよつとブルーな通勤。でも最初はウザかったオッサンの視線が次第に心地よくなっていく。オッサンといっても俺と同じくらいの40歳代から50歳60歳くらいの人たち。「ほえーテストタロッサだよ」とか「やっぱカッコいいなあ」とか「いつかは乗りたいよなあ」とかの視線だと気が付いた。その証拠に、若い人はクルマ見たあと必ずドライバーを見るけど、オッサンたちはクルマしか見ない。誰かが運転してようが問題ない。単純にクルマに感激してる。オッサン、いいねー。オッサン、好きだよ。

7月21日〜7月25日 毎日通勤、会社に来たらデザイナー事務所やライターさんとの打ち合わせにもテストで行く。都内走って駐車場見つけてテスト停めて喫茶店でコーシー。完全に自分のクルマ化。ここでひとつ気が付いた。テストは駐車するのが大変。場所は意外とどこでもOK。タワーパーキング以外で停められなかった所なかったですもん。で駐車何が大変かって、重ステだから腕疲れちゃって。狭い場所にバックで駐車する時、何回か切り返してやっと入れるような場所。これ地獄。しかも車幅がフロント狭くてリア広いんですよ。右のドアミラー見ながら車体のサイドに駐車線を合わせてバックした日にゃ、下りて吃驚クルマが斜めだ。周りに人がいたらこんなこっぴどかしい

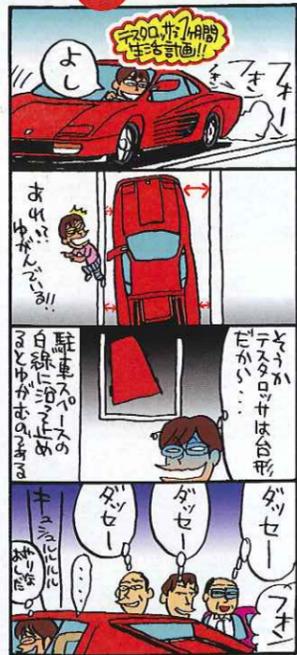
アメ車の祭典アメフェスへとテストで乗り付けてみました



アメ車好きにもテストタロッサは人気あるのです!?

7月最後の日曜日、今日は富士スピードウェイでアメ車の祭典「スーパーアメリカンフェスティバル」なる催しが開催されます。我がマガジンボックスは「Aカーズ」という日本のアメ車雑誌を発行しているのでもちろん取材およびブース出店などのためAカーズのメンバー数人が参加。テストでブースの近くまで乗り付け、アメ車好きに「テストもカッコイイでしょ」とアピール。「あんだよ、こんなとこ走ってくんやよ」とばかりの冷たい視線も何のその、出来るだけ多くの人たちにテストの魅力アピール。「おっ、なかなかカッコイイじゃん」的な視線を投げかけてくるスキンヘッド数人。そういやテストってどことなくアメ車の香りします!? トランサム?





から晴海に向かおう。それにしても暑い。35度あるんじゃないか。でもエアコンはつちりだから安心。あれ？ エアコンが…。なんだか送風状態？ 暑い暑い暑い。テストの弱点発見。気温32度までならエアコン完璧に効くんだが、32度を超えると送風状態になる。冷風出す。ちなみに渋滞にハマってる時ね。そこそこのスピード出れば問題ないけど止まったり動いたりを繰り返す状態だと気温32度がボーダーライン。でも心配して水温計の針は90度をちょっと超えた辺りで落ちて着いてる。トラブル抱えてないテストなら、真夏の都会でもオーバーヒート心配ないですね。

さて給油。今回は高速道路でFISCO往復したり通勤や取材で一般道走ったり、色々なパターンの道を走った。果たして燃費は？ 都合371kmで74給油。燃費は約5km/ℓだ。高速道路で7.5km/ℓ、一般道で3.7km/ℓ、ごちゃ混ぜで5km/ℓの結果。元テスト・オーナーに聞いたところ「まあ、妥当な線ではないですか」とのことでした。

でも妥当じゃないのがガソリンの値段。74ℓ入ったから1万円用意したら全然足りないじゃん。よく見やハイオクリッター169円ですと。月10

00km走って燃費5km/ℓだとして…：ガソリン代がリッター160円だとして月に3万2000円か。飲み代抑えりや何とかなるか。

8月5日～8月17日

テスト1ヵ月生活の後半は、ほとんどマイカー状態。メインは通勤で、あとは休みの日に買い物。なんだかすっかり手足になってます。トラブルなんもなし。かといってホントのマイカーであるワゴンとは乗って全然違う。運転が面倒とか大変とか緊張するとか疲れるとか、その辺はワゴンと同じ程度。何が違うか。それはね、テストだと運転してるってことを忘れない。「それじゃ神経が疲れるでしょ」とか言われそうだけど、そこまでじゃない。遊びに通勤に仕事に買い物に、これだけテストに乗って感じたこと、それ

は間違いなく普通に使えるクルマだけども、単純に物や人を運ぶ道具ではないってこと。常に「俺は今テストに乗ってる」って感じながらも、別にそんなに疲れない。

この手のクルマの場合、乗るのはほとんど遊びだけ。ツーリングとかたまにドライブ行くとかって人が多いという。でも、今回1ヵ月、約1000km乗ってみて思うのは、それじゃもったいないでしょってこと。あと、セカンドカーも必要ないかも。テスト1台あれば何でもこなす。こうなったら、思い切ってテスト買っちゃおうかなあ。「なにバカなこと言ってるの。うちは4人家族でしょ。2人しか乗れないクルマ買ってどーすんの！」

テスト購入への最大の障害は、やっぱり奥さんに他ならないわけでして…お後がよろしいようで。終わり。

## テスト購入の最大の障害は「家族の同意」が結論です！



事はない。「なーんだアイツ、真つ直ぐに停められないじゃん」とか「どーせ借りもんで慣れないんだろ」とか思ってる絶対。俺も俺で、俺のテストだよって顔してるもんだから、こん時はつかは穴があつたら入れたい(森K型ウィルス)じゃなくてスッポリ入りた気分だ。

都合3回、だいたい1週間で慣れましてたけど。今じゃテストをバックで駐車させたら日本一、くらの見事なハンドルさばきですよ。四角い枠にキツチリ前後左右均等に駐車できますよ。

7月28日

今日は会社から一般道ではなく高速

で帰ってみることにした。こんなところズーッと一般道ばかりだったから、たまにはスッ飛ばしたいし。外苑から4号下りに乗って中央道の調布インターで下り、多磨霊園を突っ切って新小金井街道で小平へ。遠回りになるので一般道より距離長い34km。でも時間は約半分。久しぶりに5速体験、快感。

そんでもって給油。今度は一般道での燃費計算。196km走って53ℓってことは、約3.7km/ℓ。まあ、世間一般で言われている範囲内ですね。

7月29日～8月3日

この期間は通勤の他にアメ車の祭典スパーアメリカンフェスティバルに

## 運転していて一番ツライのは？



最初は何をするのもツラかったけど慣れてくれば快感になるですよ。

ステアリング重いクラッチ重い車幅感覚つかめないうらまらうさしい…。東京で走り始めた当初はホント出来ただけ乗りたくない。なんて正直思ったりしました。でも乗り慣れてくうちにステアリングの重さはバックで駐車する時に多少感じる程度になったし、車幅感覚はすぐつかめるようになったし、排気音は「いい音」と感じるようになったし、クラッチの重さも走ってる限りは全く気にならなくなった。

でも、信号待ちの多い東京の道をストップ&ゴーの連続でチンチラ走っている時だけはツラかった。F1マツタのテストロッサ欲しいなあ、なんてな。

テストで行ったり、休みの日に奥さん隣に乗せて近くのディスカウントショップに買い物行ったりしてました。ちなみにテストを家のガレージに初めて入れた時のこと。

「うわっ、おとさん、このクルマすごいね。なんてクルマ？ 買ったの？」

「テストロッサ。フェラーリ」

「ふーん」

「小学校6年と7年、意外と反応薄い。いくらすんの？」

「そらきたー」

「そうだなあ。1億円くらいかな」

「ええっ！ スッゲー!!!」

単純っすね。夏休みだからいいけど、これが通常なら次の日には学校中で吹きまくったことでしょう。

「うちのとおさん、1億円のフェラーリ1買ったんだよ。エッサホッサってクルマ」とかなんとか。

「どーでもいいけど、仕事で借りてんでしょ。ツツけないでよ。高いんでしょ。うちにお金ないからね」と奥さんうーむ、テスト購入への一番の障害は、やっぱり家族の説得というの本当のことらしい。

8月4日

今日は暑い。やっと梅雨明けして、ようやくと真夏の灼熱地獄の渋滞地獄の大会東東京でテストをテストできる。都合良いことに晴海でクライスラー&ジープのイベント取材に行く予定だ。早めに出て首都高の渋滞味わって銀座

## 「これいくらすんの？」と小学生「1億円」と夢のある答えをする私



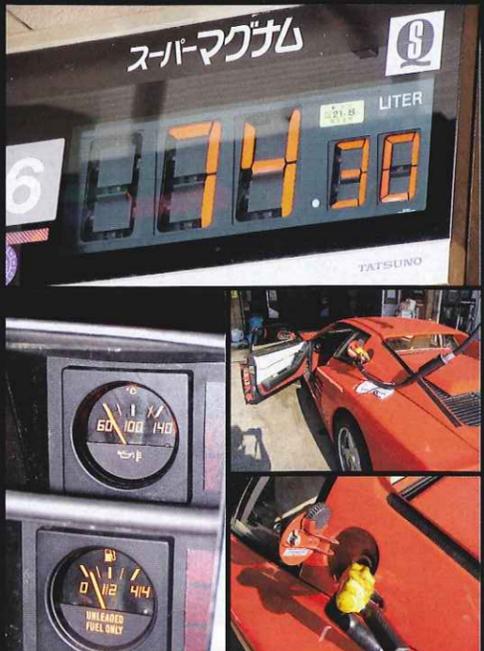
## めっちゃめっちゃ暑い都内の大渋滞、銀座を抜けて晴海まで



帰りに駐車場行ったら男2人が室内覗いてました。

8月4日の全曜日、今日は晴海でクライスラー&ジープのイベント「グレートアメリカンウィークエンド」の取材。都合いいことに猛暑。さらに場所が晴海ってことで、きつと大渋滞しているだろう晴海通りは銀座を通る。人々の視線とキラキラ太陽光線を浴びつつテストの猛暑テストを兼ねていざ出発。エアコンをMAXにして出発したはいいが、予想通りの大渋滞に気持ちが萎える。気温は35度超えか？ エアコンが効かぬぞ。ダクトからは生温い風。走り出すと多少冷たい風に変化する。でも信号待ちやら渋滞で止まると完全に送風状態だ。暑い暑い暑い！ ここで窓など開けようなら「あのクルマ、エアコンも付いてないの？」とか思われそうだし、ここは我慢だ。どうやらテストのエアコン、あまりに外気温が高くエンジン回転上らなくて送風状態になる模様。でも走り始めりや冷たくなりますから…。

## 【コイツは気になる燃費の話】高速は？ 一般道は？



ガソリン価格高騰の折り、燃費には神経使います。

ここまでガソリン価格が上がってくると、大衆車乗ってる人だって気になるのが燃費。果たしてテストはどのくらいの数値をたたき出したのか。まずは高速編として名古屋から東京、そして東京からFISCOなどの走行で計算した結果、7.5km/ℓ。かなりの数値が出た。ほとんど通勤と取材で東京周辺を走り回った一般道は3.7km/ℓ。6年間テストオーナーだったスーパーカーライターの松岡さんに聞いた「そんなモンですよ」とのこと。1ヵ月生活で高速・一般道含め

てトータル1000km以上走ったけど、最終的なごちゃ混ぜ燃費は約5km/ℓ。個人的な感想としては「結構走るじゃん」でした。

テストで1ヵ月1000km走る人も希でしょうが、もし1000km走って燃費5km/ℓ、ハイオクリッター160円計算で月に3万2000円。5000km走る人で1万6000円。意外とかからないでしょ？ このくらいならタバコ止めればいんだし、飲みに行くのを1回止めればOKです。まあ、それが出来れば苦勞しないんですけどね。

## スポーツパッドに履き替えたなら…



今月号のリフレッシュ計画でスポーツパッド(P45参照)に履き替えた。でも感度変わらずブレーキの効きもイマイチ。そこでもっと強力なパッドに変更(P48参照)したところ、アツという間にホイールが真っ黒け。ブレーキの鳴きも出現。ローターへの攻撃性が高まりブレーキも効くようになったということでしょう。

